

平成29年度綾部市創生有識者会議 議事概要

日時 平成29年7月3日(月) 午後1時28分～2時52分

場所 綾部市役所 第一委員会室

出席者 委員：大槻哲也、川端勇夫、佐藤泰志、塩見勝美、志賀由美子、四方憲生、白波瀬聡美、手島政和、友定聖二、福井雅之、山岡正彦、山崎清吾、山中史香、湯川佳秀(14名)

理事者：足立教育長

部長：白波瀬総務部長、四方市民環境部長、大石福祉保健部長、安村農林商工部長、四方定住交流部長、大槻建設部長、前田上下水道部長、岡垣教育部長(8名)

事務局：企画財政部 高橋部長

企画政策課 岩本課長、東課長補佐、新川主事
財政課 吉田課長

欠席委員：大西辰彦、四方章博、立川真悟

欠席部長：柳原消防長、西川議会事務局長

傍聴：2名

資料 次第

【資料1】総合戦略進捗状況(平成28年度評価)

【資料2】交付金及び総合戦略の進捗状況・効果検証

【資料3-1、2】推進・加速化交付金重要業績評価指標(KPI)実績評価一覧

【資料4】総合戦略重要業績評価指標(KPI)実績評価一覧

【資料5】総合戦略見直し

【資料6】有識者会議委員名簿

主要事業マップ

1 開会

2 委嘱状交付(机上配布)

3 副市長あいさつ

まち・ひと・しごと創生法が平成26年に制定されたことを受けて、綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成27年10月に策定した。綾部市定住実績は全国屈指であるが、全国で同様の定住政策が打ち出されていることもあり、コミュニティーナース等の取組も

新たに始めている。また、線引き廃止により住宅、商店の設置が容易になった。水源の里条例も10年間延長するなど、地域クラスター戦略を推進している。地方創生の交付金は事業費ベースで5億円。会議において交付金の効果検証、総合戦略の進捗状況確認をしっかりと行っていきたい。

4 委員紹介

委員紹介及び座長選任

5 ①地方創生加速化・推進交付金及び綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の

取組報告（説明：事務局）

平成27年10月に創生有識者会議の意見をお聞きしながら綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。地方創生に係る国からの交付金と総合戦略について、実績確認と検証をお願いしたい。

【資料1】

記載のとおり、4つの基本戦略をもとに事業を進めている。主な施策・交付金を活用したものは重要業績評価指標（以下、KPIという）を設定している。（総合戦略の概要と国からの交付金の関連性を説明）

【資料2】

国の交付金の効果検証について、28年度実施事業は74,685千円であった。KPI達成率の詳細は【資料3-1】をご覧ください。

【資料3-1、3-2】

地方創生加速化交付金のKPIは、12指標中10指標について100%の達成率である。達成できなかったものは、①森の京都 DMO 地域活性化推進事業の里山ねっと交流事業参加者数、②水源の里いきいき応援事業の定住世帯。一方で、綾部市への定住は28年度は過去最大であり、その他の事業は全て100%を達成している。

地方創生推進交付金 KPI は全6指標について100%以上であった。

29年度事業は293,646千円を予定。地方創生拠点整備交付金はハード事業、総事業費240,000千円。地方創生推進交付金事業費ベースで53,646千円。

総合戦略の進捗状況は31年度の目標に対する28年度実績は約7割が80%以上の進捗。

②綾部市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し

【資料4】【資料5】

29年度予算編成、情勢の変化に応じた見直し。

③映像鑑賞（※交付金を活用して作成）

14:05～14:10 北部連携都市圏形成推進プロジェクトPR映像(たんたんターン)

14:10～14:30 黒谷和紙PR映像

④意見・質問等

(委員)

- ・「まち・ひと・しごと」について、内閣府まち・ひと・しごと創生推進本部の人と話した時には「しごと・まち・ひと」が本当の順番とのこと。綾部市では「しごと」の工場・企業誘致、「まち」の線引き見直し等の順番でまちづくりが進んでおり、進捗も素晴らしい。
- ・KPI の評価をどう考えているか。全体のまち・ひと・しごと創生総合戦略、5年間の2年目で100%を超えた。元の目標数値が低かったのか、どう評価されているか。検討されておいた方が良くと思う。

(→担当部長)

- ・事務局的には KPI はそれぞれ事情があり、達成可能な数値を上げたり、2年目で達成したものもある。目標を上げる方法もあるが、5年後の数値を国に報告する必要もあるためこのままとしている。

(→委員)

- ・観光振興策が地方創生に資するか。観光振興策としては成功としても地域振興策としては別に考える必要がある。

(委員)

- ・先ほどにもあったが、KPI 達成率100%の話には表と裏がある。たとえば、チャレンジショップの取組が増えたが、これは空き店舗が増加しているためでもある。空き店舗になるのと、なるまでどうするか。空き店舗をなくして行くための施策も必要になってきている。商店街も商店があるから街になる、店を減らさないためにどうしていくかが肝心。
- ・また、日帰り観光客数であるが、日帰りだけでなく宿泊、インバウンド含めて課題がある。
- ・婚活イベントのカップル数が増えているが、婚姻数も大切。出生率でいうと綾部は北部で1番低い。要因は何があるか、課題解決も取り組む必要性があると感じた。

(委員)

- ・綾部市観光協会が解散し海の京都 DMO という一つの会社が生まれ、新たなスタートをきったところであるが、今後さらに観光振興策を進めていかないといけない。日帰り観光客数は増えてきているが、宿泊者数は去年も今年も減ってきている。宿泊をどう伸ばしていくかが課題である。増やすと言っても、例えば受け入れる宿泊施設が足りているのか等を検証しつつなんとか手を打ちたい。また、マーケティング調査を実施し、外から綾部のどこが魅力かという調査結果が出てきている。ターゲット層が見えてきつつあるので、効果的な PR を打っていく必要がある。

(→担当部長)

- ・以前とは変わったと言われるような観光振興の取組を進めていきたい。現在、グンゼスクエアに頑張ってもらって、上向いているところである。高速道路の開通による底上げもあったと思うが、次は綾部を選んでもらい、できれば泊まってもらう仕組みを DMO を通じて作る時期にきている。一緒に知恵を出しながら綾部の観光が変わってきたと言われるような、また、商店街にもお金が落ちるような観光ができたらと思うのでよろしくをお願いします。

(座長)

- ・昨年頂いたご意見もあり、今年度しっかりその点も見据えながらしっかり取り組みたい。一方的に数値を高くすることも難しいが、交付金もできるだけ組み合わせていきたい。
- ・平成 29 年度主要事業マップを製作したのでお配りしている。そこにも記載があるように、6 月議会で志賀郷公民館を可決いただいた。このような目で訴える形での取組も進めている。

(6 閉会)